

# 「白浜町におけるパブリッククラウドサービスを活用した先進的テレワーク推進及び生活直結サービス構築・検証事業」

NECソリューションイノベータ株式会社（和歌山県白浜町）

## ■実証概要

- テレワーク
  - サテライトオフィスの整備および従業員の移住・長期派遣
  - テレワークツールを活用したテレワークの有効性検証
- 生活直結サービス
  - 観光・防災・子育て・マッチングの4つの生活直結サービスの開発と効果検証

## ■実証成果・課題

### 成果

- テレワーク
  - 平成27年10月15日 予定どおり各社のオフィスをオープン
  - クラウドサービスによるテレワークシステム活用により短期間で導入完了
  - 人の移住・長期派遣 合計27名
- 生活直結サービス
  - 生活直結サービスを平成27年12月に開発完了
  - 行政と町民・県外の人達との新たなコミュニケーション環境を利用可能

### 課題

- 生活直結サービスのアプリケーションの更なる改善につなげるためのサンプリング数が、期間が短かったこともあり十分に抽出できなかった
- 今回の生活直結サービスを住民に毎日使っていただけるアプリにしていく必要がある

## ■実証終了以降の取組内容

- サテライトオフィスの活用
  - サテライトオフィスは継続して利活用
  - 新規参加企業も増やすことも検討中
- サービス・ICTシステムは他地域への普及展開
  - クラウドサービスの利点を訴求しメディアでも積極的に普及展開を図る

# 1. 実証概要

代表団体	NECソリューションイノベータ株式会社		
実施地域	和歌山県白浜町	地方移動人数/地元雇用人数 (目標)	地方移動人数：18人 地元雇用人数：SFDC社1名、パートナ4社：2～3名
地方進出企業	株式会社セールスフォース・ドットコム、株式会社ブイキューブ、rakumo株式会社、ブレインハーツ株式会社		
事業概要	1. クラウドサービスを有効活用したサテライトオフィスの整備及び新しいテレワークモデルの効果検証 2. クラウドサービスを活用した生活直結サービスモデルの検証		
実証期間終了後の予定	サテライトオフィスは実証終了後も継続して活用予定		



## 2. 実証成果・課題

### ▶ テレワークの成果

#### 成果

- 平成27年10月15日 予定どおり各社のオフィスをオープン
- クラウドサービスによるテレワークシステム活用により短期間で導入完了
- 人の移住・長期派遣 合計27名
- 生産性の向上
- 積極的な地域活動への参加による白浜町との共生モデルの確立

#### 【これまでの成果】

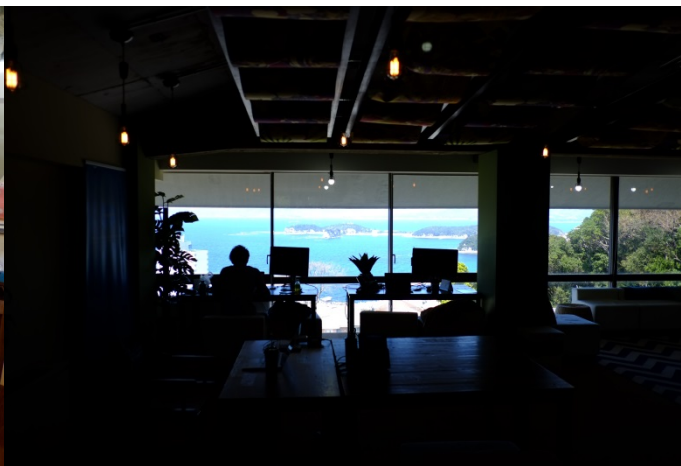
目標である「あこがれの企業」となるための第一歩を踏み出せた

## 2. 実証成果・課題

### ▶ サテライトオフィスの様子



【サテライトオフィス内(1)】  
オフィス内のレイアウトは自由に変更可能



【サテライトオフィス(2)】  
前面で海を見渡すことができる環境で仕事ができる



【サテライトオフィスメンバー】  
メンバー間の交流もしやすく社員同士のコミュニケーションは深くなっている



【サテライトオフィス内の会議室(1)】  
東京本社との遠隔地ミーティングもこの会議室で実施



【サテライトオフィス内の会議室(2)】  
スペースも確保されており多人数での会議も実施可能

## 2. 実証成果・課題

### ▶ 生産性の向上

活動件数

+6%

商談件数

+11%

契約金額

+63%

社会貢献

10h

自己投資

17h

64時間の活用方法

地域交流

13h

ライフ

24h

- 清掃活動
- 白良浜観光協会
- 御所際

- 朝活(事例、機能)
- 地場企業訪問
- SDR、BDRの交流

- アプリ説明会
- ITオフィス交流会
- 地引き網
- 祭り
- 大相撲巡業
- ビジター80名+

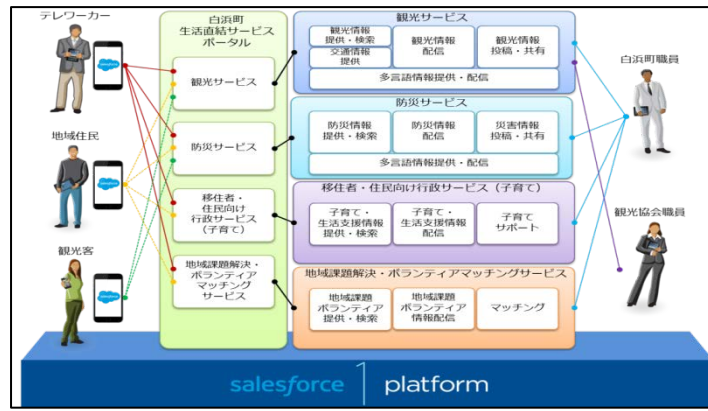
- 家族との時間
- 家族ぐるみ

# 2. 実証成果・課題

## ▶ 生活直結サービスの成果

### 成果

- 生活直結サービスを平成27年12月に開発完了
- 行政と町民・県外の人達との新たなコミュニケーション環境を利用可能
  - 子育て・防災・マッチング
    - 行政から町民への情報提供および町民からの評価のフィードバック、2 Way方式の実現
  - 観光
    - 住民参加型の新たなコミュニケーション環境の構築



### 【これまでの成果】

白浜町が「あこがれの町」となるための布石を打つことが出来た

# 2. 実証成果・課題

## ▶ 生活直結サービスの全体像



## 2. 実証成果・課題

### ▶ 移住者と白浜町との地域交流・一体化活動

#### Hour of Code

- こども達にプログラミング教育を普及させる活動。地元のこども向けに定期的な開催を実施予定
- 平成28年2月28日に第1回目を実施済

#### 道普請（みちぶしん）

- 熊野古道の補修作業。新たなファンデーション活動として実施予定

Hour of Code (2016年2月28日 白浜町合併10周年記念式典) 実施の様子





## 2. 実証成果・課題

課題	直面した課題	想定している解決策
1	生活直結サービスのアプリケーションの更なる改善につなげるためのサンプリング数が、期間が短かったこともあり十分に抽出できなかった。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 継続してアプリをより多くの人に使ってもらう（回覧版の利用、HPへの掲載、等）</li></ul>
2	今回の生活直結サービスを住民に毎日使っていただけるアプリにしていく必要がある	<ul style="list-style-type: none"><li>• 課題1の結果をもとに本課題の対応へ着手する</li><li>• アドバイザ（大学）とアプリの機能強化のアイデア出しを検討中</li></ul>

# 3. 実証終了以降の取組内容

## ■ サテライトオフィスの活用

- 本実証事業後も本サテライトオフィスを利用し、テレワークおよび生活直結サービスを用いた取組を継続する予定。また対象の職種・部署を広げること検討中
- 新たに本取り組みに参加する企業を増やすことも検討中

## ■ サービス・ICTシステム等の他地域への普及展開

- 下記訴求ポイントおよび手段により、継続して他地域へのふるさとテレワークの普及展開を図る
  - 訴求ポイント
    - クラウドサービスを利活用した業務は社内で標準化されている
    - クラウドサービスであるためすぐに利用可能
    - 本実証によりクラウドサービスの利活用がテレワークの促進につながる
  - 手段
    - ふるさとテレワーク共通基盤での積極的な情報発信
    - メディアでの積極的な情報発信